大阪市ミュージアムビジョン概要

対象とするミュージアム

これまで整備してきた次の5施設と、新たに整備予定の新美術館とする。

①大阪市立 東洋陶磁美術館

②大阪市立科学館

③大阪歴史博物館

④大阪市立美術館

⑤大阪市立自然史博物館

⑥新美術館

（平成33年度に整備予定）

ミュージアムの現状と目標

ミュージアムのあゆみと実績を基礎に、環境の変化や都市の特徴を踏まえ、新たに次の目標を定める。

現状	**ミュージアムのあゆみと実績** ・さまざまな**専門館** ・**伝統と実績** ・**優れた資料・作品** ・多彩な**人材** ・**成果の発信**	**ミュージアムを取り巻く環境** ・大型開発や大規模施設の開業 ・**外国人観光客**の急増 ・**高齢化**と都心回帰 ・**学習ニーズ**の高まり	**都市大阪（伝統と市民力）** ・伝統の**都市** ・**市民のプライド**
目標	**① 大阪の知を拓く** ミュージアムは、大阪が有する自然や歴史、文化・芸術、科学の伝統の素晴らしさをさまざまな博物館活動を通じて発掘し、戦略的に発信することで、都市格の向上に寄与する	**② 大阪を元気に** ミュージアムは、都市大阪に立地する特徴を活かし、内外から幅広い利用者を獲得するとともに、周辺エリアや多様なパートナーとの連携を図ることで、都市の活性化と発展に貢献する	**③ 学びと活動の拠点へ** ミュージアムは、人々が探究心を抱き、感受性や創造性を育み、多様なニーズに応える学びや活動の拠点となることで、大阪を担う市民力の向上に貢献する
主なアクションプラン	・館相互や関連施設との**連携・協働**による資源の相互活用 ・歴史的建築等を活用した**ユニークベニュー**の展開 ・官民の特徴を活かした**戦略的発信** ・**アーカイブ化**による資料・情報の有効利用 ・**ICT**の活用による魅力的な展示	・**多言語対応**による観光客の受け入れ体制の整備 ・近隣資源の活用やイベント参加 ・メディアと連携し**大型企画展**を誘致 ・企業と協働した**ミュージアムグッズの開発や解説技術の開発、サービス施設の充実**	・実物と実体験を通じた「気づき」や**アクティブラーニング**の場を提供 ・**プロ輩出の契機**となるような専門研究の支援 ・**市民参加**の調査研究活動や、**ボランティア・NPO**による参画機会の拡充

めざす姿

都市のコアとしてのミュージアム

～大阪の知を拓き発信することで、人々が集い賑わう都市を実現し、大阪を担う市民とあゆむミュージアムへ～

アクションプランの要件

3つの目標①大阪の知を拓く、②大阪を元気に、③学びと活動の拠点への実現に向け、各アクションプランを実行するための要件

- 事業における**継続性**や**専門人材**の安定的確保ができ、**戦略的投資**ができること。
- 事業の効果的実施に必要な、**機動性**、**柔軟性**、**自主性**が確保・発揮できること。
- 経営と運営の**一元化**が図られ、**中長期的視点**を備えた事業展開ができる体制であること。